

EU Indicators

発表日:2018年8月14日(火)

欧州経済指標コメント:7月ドイツZEW景況感

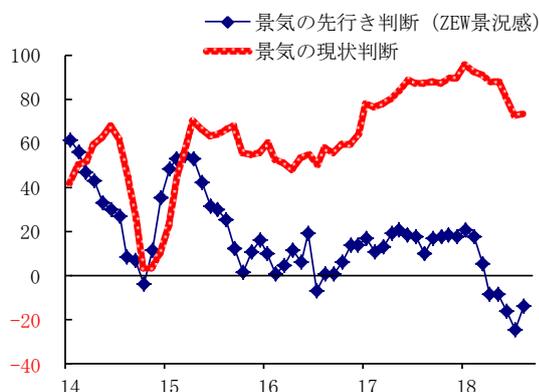
～米欧貿易摩擦への警戒が和らぐ～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

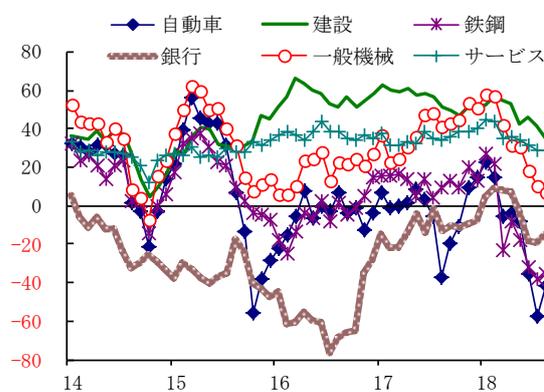
- 8月のドイツのZEW景況感（金融市場関係者の6ヶ月先の景況判断）は▲13.7と、前月（▲24.7）からマイナス幅が縮小した。業況判断が前月対比で上向いたのは7ヶ月振り、単月の改善幅（+11.0ポイント）としては2016年6月（+12.8ポイント）以来。同時に発表された現状判断は+72.6と、こちらも7ヶ月降りに前月対比で改善。市場参加者の業況悪化に歯止めが掛かった。
- 業種別の業況判断は、米国による輸入関税引き上げがひとまず回避された自動車（▲57.8→▲41.3）のマイナス幅が大幅に縮小。銀行（▲19.5→▲14.8）、鉄鋼（▲38.3→▲35.8）の冷え込みに歯止めが掛かり、化学（+9.5→+12.7）、電機（+11.9→+14.9）、小売（+31.3→+34.4）、情報通信（+48.2→+50.2）のプラス幅が拡大した。他方、建設（+41.4→+35.8）、保険（▲14.7→▲17.7）、一般機械（+10.1→+6.5）が前月対比で悪化。
- 調査時期は7月30日～8月13日。7月25日の米EU首脳会談で、自動車関税の引き上げ見送りや工業製品の関税撤廃に向けた協議開始で合意したことを好感した。他方、最近のトルコ情勢を巡る不透明感の高まりと金融市場でのリスク回避的な動きは、今回の計数には十分に反映されていない模様。貿易面を通じた直接的な影響は限定的だが、スペイン、フランス、イタリアの一部大手銀行がトルコ向け対外与信を抱えており、銀行チャネルを通じた不安の広がりが警戒される。

■ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所: ZEW

■ドイツ: ZEWの業種別景況感



出所: ZEW

■ドイツ企業景況感 (季節調整済み)

	2017				2018										
	3Q	4Q	1Q	2Q	2017 10月	11月	12月	2018 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ZEW景況感 (先行き)	14.8	17.9	14.4	-10.8	17.6	18.7	17.4	20.4	17.8	5.1	-8.2	-8.2	-16.1	-24.7	-13.7
現状指数	87.0	88.4	92.7	85.3	87.0	88.8	89.3	95.2	92.3	90.7	87.9	87.4	80.6	72.4	72.6
Ifo景況感 (総合)	104.2	105.0	104.2	102.1	104.9	105.2	105.0	104.9	104.3	103.5	102.3	102.3	101.8	101.7	-
現状指数	106.3	107.1	107.9	105.8	107.2	106.8	107.3	108.5	108.3	106.9	106.0	106.2	105.2	105.3	-
先行き指数	102.1	103.0	100.6	98.6	102.7	103.7	102.7	101.4	100.3	100.1	98.7	98.6	98.5	98.2	-
PMI製造業指数	59.3	62.1	60.0	57.0	60.6	62.5	63.3	61.1	60.6	58.2	58.1	56.9	55.9	56.9	-
サービス業指数	54.1	54.9	55.5	53.2	54.7	54.3	55.8	57.3	55.3	53.9	53.0	52.1	54.5	54.1	-

出所: ZEW、Ifo、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

